

2020年度 上越教育大学出前講座 (振興協力会法人会員様向け)

目次

出前講座・振興協力会について	1
お申込み方法等	2
出前講座テーマ等一覧	3
出前講座概要	4~9
出前講座申込書(第1号様式)	10
出前講座実施報告書(第3号様式)	11



出前講座について

上越教育大学では、地域の学校等の教育関係機関、地域の住民団体及び企業等の求めに応じて、大学教員が出向して講義等を行う「出前講座」を実施しております。

出前講座は、大学の教育と研究の成果を広く地域社会に還元するための地域貢献活動の一環として行われている事業です。どうぞお気軽にご利用ください。

振興協力会法人会員様の講習料負担について

通常、企業等の団体を対象とした出前講座は、講習料(1講座につき20,000円)と講師旅費(実費)をご負担いただいております。

振興協力会法人会員様を対象とした出前講座は、先着10法人まで(1法人につき1講座まで)講習料を負担します。お申込みの際、法人会員である旨をお知らせ願います。

振興協力会に関するお問い合わせは、下記振興協力会事務局までお願いいたします。

【上越教育大学振興協力会】

地域貢献活動に積極的に取り組んでいる上越教育大学の発展・充実を応援しようと設立された、地域のみなさんと上越教育大学をつなぐ架け橋となる団体です。

◆上越教育大学振興協力会事務局

Tel:025-521-3292 E-mail: kakehasi@juen.ac.jp



<お申込み方法>

- ① 「出前講座テーマ等一覧」からご希望の講座をお選びの上、10ページの「出前講座申込書（第1号様式）」を作成し、下記お申込み・問い合わせ先までお送りください。振興協力会法人会員様がお申込みの場合は、「申込代表者」欄には必ず法人会員名・代表者名を記入してください。お申込みの際、法人会員である旨お知らせください。また、「出前講座申込書（第1号様式）」の講座名は、3ページの「出前講座テーマ等一覧」に記載してあるテーマ名を記入してください。
- ② 申込書受付後は、事務担当者が担当講師と日程等について調整します。担当講師と調整済みの場合は、その旨ご連絡ください。講座実施の可否が決定しましたら、大学よりメールもしくはFAXにて「出前講座承諾通知書（第2号様式）」「承諾書」をお送りします。
- ③ 講座実施にかかる事前手続きは以上となります。なお、担当講師の派遣依頼等の手続きは不要です。

<実施報告書の提出>

講座終了後は、1ヶ月以内に11ページ「出前講座実施報告書（第3号様式）」を作成し、下記お申込み・問い合わせ先までお送りください。また、「出前講座実施報告書（第3号様式）」の講座名は、3ページの「出前講座テーマ等一覧」に記載してあるテーマ名を記入してください。

<費用>

講習料は、振興協力会法人会員様からのお申込みの場合には必要ありません。（先着10法人1法人につき1講座まで）

また講師旅費は、実施会場が平成17年合併以前の旧上越市内の場合は必要ありません。旅費の算定方法やお支払い方法については、特段の定めは設けておりません。詳しくは担当講師と直接ご相談ください。

講習料（通常、1講座につき20,000円）

※振興協力会法人会員様からのお申込みの場合は不要です。（先着10法人1法人につき1講座まで）



講師旅費（実費）

※実施会場が平成17年合併以前の旧上越市内の場合は必要ありません。

<注意事項>

- ・担当講師に対する謝金は不要です。
- ・**2講座目からの、お申し込みは有料となります。**
- ・承諾書送付後に、天災等不測の事態が生じ、講座の実施が困難になったときは、中止する場合がありますので、予めご了承ください。
- ・担当講師の研究分野等に関する詳しい情報は、上越教育大学ホームページ（<http://www.juen.ac.jp>）「上教大で教える先生」から検索することができます。

お申込み・問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学研究連携課

TEL 025-521-3665 FAX 025-521-3621

E-mail chiiki@juen.ac.jp URL <http://www.juen.ac.jp>（「地域の方へ」から検索）

受付時間 平日（月～金） 9:00～17:00

出前講座テーマ等一覧

分野	No	テーマ名	担当講師		受講対象者	掲載頁
総合・情報	1	ホワイトボード・ミーティング®入門	大場 浩正	教授	保護者、中学生、高校生、地域住民、企業、大学生	4
	2	プログラミング入門講座	大森 康正	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	4
	3	ネット社会の光と影	島津 弘次	特任准教授	教員、保護者、小学生、中学生、地域住民、企業	4
心理	4	心配と心の健康	田中 圭介	准教授	教員、保護者、小学生（高学年）、中学生、高校生、地域住民、企業	5
社会・国際教育	5	学校『地図帳』から学ぶ地理の世界	志村 喬	教授	教員、保護者、地域住民、企業	5
	6	世界史の視点から現代の世界情勢を読み解く	下里 俊行	教授	教員、保護者、高校生、地域住民、企業	5
	7	となりのロシアはどんな国？	下里 俊行	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	5
	8	地域の災害を想定する	山縣 耕太郎	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	6
	9	歩いて見よう高田城下町の地形	山縣 耕太郎	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	6
	10	世界の国歌を学ぼう	小島 伸之	教授	教員、保護者、中学生、高校生、地域住民、企業	6
	11	知識基盤社会における教育の世界的動向	大前 敦巳	教授	教員、保護者、中学生、高校生、地域住民、企業	7
	12	被災地から学ぶ防災教育	石野 正彦	特任教授	教員、保護者、幼児、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	7
理科	13	海外植物調査の実際 (ネパール・ムスタン地域の植物相調査を例として)	五百川 裕	教授	教員、保護者、中学生、高校生、地域住民、企業	7
	14	上越市の絶滅危惧植物	五百川 裕	教授	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	7
体育	15	体づくり～体調の整え方～	周東 和好	教授	地域住民、企業	8
	16	やわらかなからだ～柔軟プログラムの提供～	周東 和好	教授	保護者、幼児、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業	8
健康	17	笑いヨガ（笑いの健康法）で明るく楽しく元気に！	田島 弘司	准教授	教員、保護者、幼児、小学生、中学生、高校生、地域住民、企業、高齢者施設等の各種施設	8
	18	健康とメディアとの関わり方	島津 弘次	特任准教授	教員、保護者、小学生、中学生、企業	9

出前講座概要

01		ホワイトボード・ミーティング®入門	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 大場 浩正 教授	電話 E-mail	025-521-3306 hohba
受講対象	保護者、中学生、高校生、大学生、 地域住民、企業	講義形式 講義時間	ワークショップ形式 1時間～3時間
注意事項	具体的な内容に関しては要相談		
講 座 概 要	<p>会議に活用できる効率的、効果的な話し合いの技法「ホワイトボード・ミーティング®」の進行技術の習得をめざします。ファシリテーターやサイドワーカーの技術を習得し、合意形成に有効なベーシック編の3つの会議フレーム（定例進捗会議、役割分担会議、企画会議）を中心にその進め方を練習します。</p> <p>ホワイトボード・ミーティング®とは、ホワイトボードを活用して進める会議の方法です。進行役をファシリテーター、参加者をサイドワーカーと呼びます。ファシリテーターが参加者の意見をホワイトボードに書くので、何を話しあっているのかが明確になり、効率的、効果的に会議が進みます。2003年にちよんせいこ氏（株式会社ひとまち）が開発し、教育など幅広い分野で取り組まれています。</p>		

02		プログラミング入門講座	
担当講師 (所属・氏名・職名)	自然・生活教育学系 大森 康正 教授	電話 E-mail	025-521-3685（研究室） 025-521-3681（情報メディア教育センター） oomori
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、 高校生、地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義・演習 1時間～3時間
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講座形式、時間数、具体的な内容などの要望は、可能な限り対応いたします。相談してください。 ・プログラミング体験用の機材は原則当方で準備しますが、ネットワーク環境が必要な場合は、受講者側で用意して頂くことがあります。 ・プログラミング体験の内容によっては受講者数に制限があります。 		
講 座 概 要	<p>2020年度以降、小学校から高等学校までプログラミング教育が実施されます。本講座では、プログラミングの思考とは何か、プログラミング教育は何のために行われるのか、プログラミングって難しいのでは、プログラミングをちょっと体験してみたいなど日頃の疑問に対して、講義、演習を通して学ぶことができます。プログラミングの体験は、コンピュータサイエンス・アンブラグド、ビジュアル系プログラミング言語 Scratch、タコ焼き型ロボット Ozobot、小型の教育用マイコン micro:bit、コミュニケーション型ロボットのロボホン、小型ドローンなど受講者の希望・経緯に応じて実施いたします。</p>		

03		ネット社会の光と影	
担当講師 (所属・氏名・職名)	学校教育実践研究センター 島津 弘次 特任准教授	電話 E-mail	025-542-0938 kshimazu
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、 地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義 45分～1時間30分 (対象者や会場の状況に応じて変更可能)
講 座 概 要	<p>インターネットが発達し、ゲーム機、コンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなどの電子メディアにより、いつでもどこでも簡単に情報にアクセスできる時代となりました。さらに、人工知能、IoT、ビッグデータ、ロボット等の活用により、これからの社会は大きく変化しようとしています。生活は一層便利になりますが、情報化が進んだネット社会は光り輝くよいばかりではありません。気を付けないとトラブルに巻き込まれてしまう影の部分もあります。</p> <p>この講座では、ネット社会の光と影の部分を確認し、SNSやオンラインゲームなどインターネットに潜む危険を回避しながら活用できるよう、ネット社会の歩き方について話をしていきます。</p>		

※ E-mail：アルファベット表記以下@juen.ac.jp

04		心配と心の健康	
担当講師 (所属・氏名・職名)	臨床・健康教育学系 田中 圭介 准教授	電話 E-mail	025-521-3368 keisuke
受講対象	教員、保護者、小学生（高学年）、 中学生、高校生、地域住民、企業	講義形式	講義+演習 (簡単なワークやエクササイズ)
		講義時間	1時間～1時間30分
注意事項	講演内容は、相談により決定します。心配やストレス以外にも、ポジティブな学級づくり、社会的スキル、問題解決スキル、強みの活かし方、マインドフルネス、持続的幸福的作り方など、様々なテーマに対応します。		
講座概要	<p>普段の生活の中で様々な心配事に遭遇することがあります。勉強、人付き合い、健康、お金など、日常生活を取り巻く色々なことが心配の種になりえます。根強い『心配性』はストレスとなり、心や身体、生活リズムに様々な影響を与えます。</p> <p>しかしながら、心配をすることは、本来、私たちが生きる上で必要不可欠な「力」であると考えられています。上手く付き合うことができれば、心配性は決して嫌悪すべきものではありません。そこで、本講座では、心理学の観点から「心配とは何か」について解説し、その上で、「心配性と上手に付き合っていく方法」のヒントを認知行動療法と呼ばれる心理療法のテクニックをもとに紹介します。</p>		

05		学校『地図帳』から学ぶ地理の世界	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 志村 喬 教授	電話 E-mail	025-521-3339 shimura
受講対象	教員、保護者、地域住民、企業	講義形式	講義
		講義時間	1時間
講座概要	<p>あまり知られていませんが、小・中・高等学校の社会科（地理・歴史科）で配布される学校用『地図帳』も法的に教科書で、文章主体の「教科書」とは異なる社会的情報を満載しています。その豊富な内容は、学校卒業後も十分価値を持っています。本講座では、現在使われている『地図帳』、過去に使われた『地図帳』を紹介し、それらから日本と世界の地理今昔を読み解いていきます。</p>		

06		世界史の視点から現代の世界情勢を読み解く	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 下里 俊行 教授	電話 E-mail	025-521-3336 simosato
受講対象	教員、保護者、高校生、地域住民、 企業	講義形式	講義
		講義時間	1時間30分
注意事項	実施可能期間は令和2年10月1日～令和3年3月31日です。		
講座概要	<p>日本は、今後、東アジアの近隣諸国、中国、韓国、北朝鮮、ロシア、ヨーロッパ、米国などでの政治・経済状況に対処しつつ、人々が幸せになれるような国づくりを進めるという課題に直面しています。このような激動する日本と世界の情勢を、その歴史的背景にさかのぼって読み解くことで未来を展望することの重要性、「世界史」の教養が現代社会において決定的に重要であることをお話しします。</p>		

07		となりのロシアはどんな国？	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 下里 俊行 教授	電話 E-mail	025-521-3336 simosato
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義
		講義時間	1時間30分
注意事項	実施可能期間は令和2年10月1日～令和3年3月31日です。		
講座概要	<p>日本の隣国ロシアの文化と歴史について、分かりやすく解説します。ロシア語のアルファベット、簡単なあいさつや、会話のフレーズ、マトリョーシカ、チェブラーシカ、現代のヒットソングといった「柔らかい」ロシア文化の紹介だけでなく、ウクライナ情勢やプーチン政権の新しい世界戦略の分析、日露関係の展望など「難しい」テーマについても、受講者のリクエストに応じて柔軟に対応して説明いたします。</p>		

※ E-mail：アルファベット表記以下@juen.ac.jp

08		地域の災害を想定する	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 山縣 耕太郎 教授	電話 E-mail	025-521-3331 kotaro
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義・演習 1時間30分～4時間
講 座 概 要	<p>変動帯に位置する日本列島で生活する私たちは、地震や火山噴火などの災害と折り合って暮らしていかなければなりません。そのため、まず必要なのは、災害や、災害を引き起こす現象について、よく知るということです。例えば、地震災害は、主に地震動（揺れ）によって引き起こされます。しかし、それぞれの地震災害によって、災害の様相は異なります。これは、地震災害の被害が生じる過程に、地域の自然のおよび人文・社会的条件が作用しているからです。災害を知るということは、地域を知るということにつながります。本講義では、地域で生じる可能性がある災害の特徴を確認し、その影響範囲について、図上作業を行いながら地域で生じる災害を想定します。1コマの講演の形でも実施できますし、複数コマで実施できる場合には、町歩きを取り入れたり、図上訓練（DIG）や防災訓練と組み合わせることも可能です。</p>		

09		歩いて見よう高田城下町の地形	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 山縣 耕太郎 教授	電話 E-mail	025-521-3331 kotaro
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式 講義時間	野外巡検 1時間～4時間
講 座 概 要	<p>今から400年前、松平忠輝は、直江津の海岸付近にあった福島城から内陸の高田に城を移しました。その理由は、高田周辺の地形が城の守りを固めるために適していたからだと考えられます。一見、とても平坦に思える高田市街地周辺の地形も、詳しく見ると微妙な凸凹があることに気がつきます。こうした凸凹は、川がつくった地形です。高田城は、この地形をうまく利用し、さらに人為的な改変を加えて守りを固めています。一方、川沿いに城を造ったため、高田城下町は、水害と戦わなければならなくなりました。しかし、高田城下町は、地形を考慮して、うまく水害を避けられるように造られています。</p> <p>本講座では、実際に高田城下町を歩いて地形を観察しながら、江戸時代の人々の知恵と工夫を知るとともに、上越地域の自然について学びます。</p> <p>室内で写真や地図などをスクリーンに映しながらの講義形式も可能です。</p>		

10		世界の国歌を学ぼう	
担当講師 (所属・氏名・職名)	人文・社会教育学系 小島 伸之 教授	電話 E-mail	025-521-3332 kojima
受講対象	教員、保護者、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式 講義時間	講義 1時間30分
講 座 概 要	<p>オリンピックやワールドカップなどの機会に、世界のいろいろな国の国歌を聞いた経験は誰にでもあると思います。</p> <p>一方、その歌詞の内容については意外と知らない人が多いのではないのでしょうか。</p> <p>各国の国歌には様々なタイプのものがあり、それぞれその国の歴史を反映し、「その国のかたち」を示す内容が含まれています。世界の国歌の歌詞には、意外な内容なものも多く、多くのドラマが潜んでいます。</p> <p>国歌の歌詞を知ることを通じて、世界の社会の成り立ちやありかたを学ぶことができるのです。</p> <p>この講座では、世界のいろいろな国の国歌を、その歌詞を参照しつつ実際に聞きながら、世界の国家やその歴史について、比較をしながら学びます。</p>		

※ E-mail : アルファベット表記以下@juen.ac.jp

11		知識基盤社会における教育の世界的動向	
担当講師 (所属・氏名・職名)	学校教育学系 大前 敦巳 教授	電話 E-mail	025-521-3380 ohmae
受講対象	教員、保護者、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義
		講義時間	1時間30分
注意事項	講義内容（学校段階、内容の焦点など）は、受講者の要望に応じて相談して決めることができます。		
講 座 概 要	<p>本講座では、グローバル化に伴う知識基盤社会への移行に向けた教育政策、OECD・ユネスコなどの国際機関における教育課題、特にフランスの移民と教育の問題に焦点を当てた学力向上策を題材に、国際的な視点から教育の動向を紹介しディスカッションを行います。</p> <p>具体的には、OECD-PISA 学習到達度調査で測定される知識技能を社会に活用する能力（コンピテンシー）、国際連合で2030年に向けて策定された「持続可能な開発目標（SDGs）」、日本の科学技術計画（Society 5.0）に向けた教育政策、多文化社会に直面するフランスの学校教育事情などの問題を取り上げます。</p>		

12		被災地から学ぶ防災教育	
担当講師 (所属・氏名・職名)	学校教育実践研究センター 石野 正彦 特任教授	E-mail	ishinoma
受講対象	教員、保護者、幼児、小学生、 中学生、高校生、地域住民、企業	講義形式	講義・ワークショップ
		講義時間	児童・生徒向け：45分～50分 教職員・保護者向け：1時間30分～2時間
講 座 概 要	<p>講座は、上越教育大学学生ボランティア団体（ABJ）と石野（ABJ顧問）が共同で行います。子ども向け、教職員向けでこれまでも講演会や研修会などを行っています。ABJは毎年被災地へのボランティアツアーを実施しており、大川川小学校跡地、旗巻小学校跡地、門脇小学校跡地を訪れ、そのとき現場にいた教師から被災時の実際の対応を学んでいます。また、被災後の子供たちの心のケアなどについての取組も学んでいます。さまざまな視点から防災への取組を講座として実施しています。</p>		

13		海外植物調査の実際 (ネパール・ムスタン地域の植物相調査を例として)	
担当講師 (所属・氏名・職名)	学校教育学系 五百川 裕 教授	E-mail	iokawa
受講対象	教員、保護者、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義
		講義時間	1時間
講 座 概 要	<p>国際学術調査としての海外における植物調査が、どのように行われているのかを、ネパールのムスタン地域での実例をあげて紹介します。ムスタン地域は、政治的事情等により外国人の立ち入りが規制されてきたために、近年まで植物を含む国際学術調査が充分に行われてきませんでした。ヒマラヤ山脈の標高2500m以上の高地にありながら、気温は比較的温暖であるものの、降水量が少なく極めて乾燥した独特の気候と、そこに生育する植物と動物の関係などを、写真とビデオを使って平易に解説します。</p>		

14		上越市の絶滅危惧植物	
担当講師 (所属・氏名・職名)	学校教育学系 五百川 裕 教授	E-mail	iokawa
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義
		講義時間	1時間
講 座 概 要	<p>上越市版レッドデータブック作成のための調査結果に基づき、上越市内に生育する植物のうち、環境変化等により減少し絶滅のおそれのあるものが多数ある現状を、実例を写真で示しながら紹介し、生物多様性の保全の意義や方策について、平易に解説します。身近な地域、各區ごとに焦点を絞った講座も対応が可能です。</p>		

※ E-mail：アルファベット表記以下@juen.ac.jp

15		体づくり～体調の整え方～	
担当講師 (所属・氏名・職名)	芸術・体育教育学系 周東 和好 教授	電話 E-mail	025-521-3578 shuto
受講対象	地域住民、企業	講義形式	講義・演習・実技 (ご相談に応じます。)
		講義時間	1時間～1時間30分 (ご相談に応じます。)
講 座 概 要	<p>今日のあなたの体調は良いですか。</p> <p>健康な体づくりを目指して、日々の健康維持に役立てることをねらった簡易な実技によって、体調を把握する方法、体調を整える方法を学びます。</p>		

16		やわらかなからだ～柔軟プログラムの提供～	
担当講師 (所属・氏名・職名)	芸術・体育教育学系 周東 和好 教授	電話 E-mail	025-521-3578 shuto
受講対象	保護者、幼児、小学生、中学生、高校生、 地域住民、企業	講義形式	講義・演習・実技 (ご相談に応じます。)
		講義時間	45分～2時間(ご相談に応じます。)
講 座 概 要	<p>柔軟性を獲得するには、継続的な取り組みを必要としますが、やり方によっては結果を得るまでの期間は大きく異なります。また、動きの柔らかさについてはあまり問題視されていないのが現状です。</p> <p>日常のちょっとした動き方の工夫で身体は柔らかく変化します。</p> <p>本講座では、からだの柔らかさについて、簡易な実技を通して学びます。</p>		

17		笑いヨガ(笑いの健康法)で明るく楽しく元気に!	
担当講師 (所属・氏名・職名)	学校教育学系 田島 弘司 准教授	電話 E-mail	025-521-3312 tajima
受講対象	教員、保護者、幼児、小学生、中学生、 高校生、地域住民、 企業、高齢者施設等の各種施設	講義形式	実技
		講義時間	1時間～1時間30分
講 座 概 要	<p>笑いヨガとは、従来のヨガの呼吸法に「笑い」を取り入れ、子供からお年寄りまで、誰にでもできる笑いの体操(笑いの健康法)です。ユーモアやジョークに頼らず、笑いを一つの体操としてグループまたは一人で行います。笑いヨガで15～20分以上笑い続けることによって健康への様々な効果が期待できます。1995年にインドの医師によって開発された笑いヨガは、2017年現在では、世界100か国以上、10,000以上のグループで活動が行われています。本講座の講師は、笑いヨガの認定ティーチャーであり、対象者や場所を問わず、様々なニーズに合った笑いヨガのプログラムを創案し実施することが可能です。お気軽にお問い合わせください。なお、これまでに講師が行った「笑いヨガ効果測定」においても「エネルギーレベル」「気分」「楽観的な気持ち」「他の参加者との親密感」「筋肉のゆるみ」「精神的なリラックス」などが向上する効果が確認されています。2019年には、昔から学校で実施されている黙想のように手軽に行うことができる「1分間笑いヨガ」のプログラムを開発しました。</p>		

※ E-mail: アルファベット表記以下@juen.ac.jp

18		健康とメディアとの関わり方	
担当講師 (所属・氏名・職名)	学校教育実践研究センター 島津 弘次 特任准教授	電話 E-mail	025-542-0938 kshimazu
受講対象	教員、保護者、小学生、中学生、 企業	講義形式	講義
		講義時間	45分～1時間30分 (対象者や会場の状況に応じて変更可能)
講座概要	<p>テレビ、ゲーム機、コンピュータ、タブレット端末、スマートフォンなど、私たちの生活に電子メディアは欠かせないものとなっています。しかし、電子メディアに接触する時間が多くなる分、睡眠時間が減り、不健康な状態になってしまう状態が多くみられます。また、身体の健康だけでなく、電子メディアを活用したコミュニケーションが上手にできず心の健康を害してしまったり、依存症になって電子メディアから離れることができなくなったりする場合があります。</p> <p>この講座では、電子メディアによるトラブル事例を紹介し、心身の健康を大切にするために、電子メディアとの関わり方について注意しなければならぬことを話していきます。</p>		

※ E-mail：アルファベット表記以下@juen.ac.jp

出前講座申込書

上越教育大学長 殿

〈申込者〉 住 所
機 関 ・ 団 体 名
役 職 名
氏名（代表者名）

出前講座の実施を下記のとおり申し込みますので、承認願います。

記

1. 講座番号
講座名
2. 講師氏名
3. 講義日時
4. 講義場所（住所）
5. 受講対象者及び人数
6. 目的及び内容
7. 連絡先（担当者・電話番号・メールアドレス）

出前講座実施報告書

上越教育大学長 殿

〈申込代表者〉住 所
機 関 ・ 団 体 名
役 職 名
氏名（代表者名）

出前講座を実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

1. 講座番号
講座名

2. 講師氏名

3. 講義日時

4. 講義場所

5. 受講対象者及び人数

6. 目的及び内容

7. 意見・感想

8. その他（今後扱ってほしいテーマなどがありましたら、お書きください。）